

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月16日(金)

事務事業		渋沢栄一政策推進事業		担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	14111	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画					
	小項目	4	渋沢栄一の顕彰と精神の継承							
	主要プロジェクト	1	渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト							
事業概要		渋沢栄一に関する施策の企画及び調整のほか、渋沢栄一の顕彰に関する包括連携協定や渋沢栄一ゆかりの企業・団体との連携に関する事業。渋沢栄一の精神を学ぶ「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」を通じて、ビジネス教育と人材育成を目的とした実践的な取り組みを行う。								
目的 ※何のために		渋沢栄一の顕彰を通してゆかりの企業・団体との協力体制を構築し、渋沢栄一の功績や考えを後世へと継承する取組を推進することで、未来を切り拓く人材を育成する。								
対象 ※誰・何を対象に		渋沢栄一にゆかりのある企業・団体等を中心として全国のかたを対象とする。								
手段 ※どのように		「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」を通じて渋沢栄一の理念を胸に様々な変革に挑戦する企業の知恵を学ぶ場を提供する。								
成果 ※何を求めるか		渋沢栄一の理念を継承し、未来を切り拓く力を持った次世代を担う人材を増やし、深谷市の持続可能な発展を目指す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	9	地域文化振興費	渋沢栄一政策推進事業	11,589,720
本事業の 主な業務		・ 渋沢栄一ひとづくりカレッジの推進				・				
		・ 渋沢栄一ゆかりの企業・団体との連絡調整				・				
		・ 渋沢栄一に関する個別計画の策定・進行管理				・				
		・ 渋沢栄一賞に関する総合調整				・				
		・				・				
		・				・				

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
年度別計画		協議会への負担金 没後90年イベント 商標登録	渋沢栄一ひとづくりカレッジ 渋沢栄一関連施設回遊 ロゴマーク・肖像写真の 管理	渋沢栄一ひとづくりカレッジ 渋沢栄一関連施設回遊 ロゴマーク・肖像写真の 管理	渋沢栄一ひとづくりカレッジ 渋沢栄一関連施設回遊 ロゴマーク・肖像写真の 管理			
事業費	予算(現額)	129,497,000	15,591,000	19,568,000	29,719,000			
	決算額	127,874,125	11,589,720	0	0			
	財源内訳	国支出金	57,000,000	4,967,000	11,000,000	9,450,000		
		県支出金	1,000,000	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	58,290,000	5,239,371	133,000	133,000		
一般財源	11,584,125	1,383,349	8,435,000	20,136,000				
人件費	従事職員数(人)	1.45	2.40	2.20	2.20			
	人件費相当試算※	11,254,777	18,886,937	18,032,051	18,032,051			
総事業費試算		139,128,902	30,476,657	37,600,051	47,751,051			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	包括連携協定の締結件数	目標値	件						
		実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		相手がある指標のため目標値設定はそぐわない。 / 締結件数（覚書含む）						
実績値の算出式									
成果指標 1	企業・団体と協力してイベント等を実施した回数	目標値	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		実績値		15.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		四半期に一回を目標とする。 / 年間実施回数						
実績値の算出式									
成果指標 2	渋沢栄一ひとづくりカレッジ関連事業等への参加者数	目標値	百人	45.00	60.00	160.00	600.00	1,500.00	3,000.00
		実績値		12.51					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		想定参加者数に市作成動画の再生回数を勘案し加えたものを目標とする。 / 現地・オンライン参加者、関連動画再生回数						
実績値の算出式									
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA~Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	締結した包括連携協定に基づきゆかりの企業・団体との協力体制を推進してきた。「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の組織づくりも進められていることから、Aとする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	包括連携協定を締結した団体の実施するイベントへの参加など、多くの企業・団体と協力して事業の推進を図ることができたが、事業の実施回数が想定より少なかったこともあり参加者数の指標が未達成であったことから、Bとする。
			評価者 渋沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	包括連携協定先との打合せについてオンラインによるミーティングを定期的実施することで効率よく準備を進めることができたこと、また、関係団体の実施するイベントへの出展などについて、展示のパッケージを構築し、少人数でのPRを実施できていることから、Aとする。
			評価者 渋沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて設定した改善・改革案	渋沢栄一の功績や精神を次の世代へと継承していく取り組みを深谷から日本全国へ発信していく。また、渋沢栄一ひとづくりカレッジのキックオフイベントを実施し、本格始動させていく。あわせて、より一層企業・団体とのネットワークを強化し、渋沢栄一の精神の継承を進めていく。
達成状況及びその効果	「渋沢栄一ひとづくりフォーラム」を開催し、「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の組織づくりを進めることで渋沢栄一の功績や精神を次の世代へと継承していく取組の基礎を構築することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	渋沢栄一政策推進事業	担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	14111		
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 渋沢栄一の功績や精神を次の世代へと継承していく、「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の取り組みが今後本格的に始動していくことから、引き続き取り組んでいく。また、渋沢栄一ゆかりの企業・団体とのネットワークの構築に向けても研究を進めていく。				評価者	渋沢栄一政策推進課長 塚越 稔
上記を実施するための具体的な取組内容は？									

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	定期的な「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の事業(講義・企業訪問)を開始する。また、渋沢栄一ゆかりの企業や団体を結ぶ渋沢ネットワークを構築する。
令和6年度以降に取り組む改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	安定した「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の運営のため、運営費や拠点などの課題について引き続き検討する。また、渋沢ネットワークについて研究を進めていく。

8. 評価指標グラフ

